

「令和4年度心の問題と成長支援ワークショップ」カリキュラム

開催日	時間	プログラム名	目的	内容
1 日 目	午前	①イントロダクション (20分)	・事前学習の確認をする。 ・本ワークショップの動機づけを高める。	・現代の大学等を取りまく状況と学生の心理的特徴 ・高等教育における学生相談の目的と役割 ・学生生活を理解する視点 ・本ワークショップの概要と目的
		②メンタルヘルスの基礎知識 (精神疾患と発達障害) (70分)	・学生期によく見られる精神疾患、発達障害等について、基礎的な知見と対応時の留意点などを理解し、学生や若者が陥りやすい生活習慣やストレス対処力等が契機となるメンタルヘルス不調についても理解する。	・こころの病気-精神医学の考え方 ・青年期にみられる代表的な精神障害について基礎知識の解説 ・高頻度に生じる学生のメンタルヘルス不調:不適切な生活習慣やストレス対処力の未熟さ等との関連性 ・学内における支援体制-職種間及び外部医療機関との連携
		③アイスブレイク (グループワーク) (20分)	・各班に分かれ、メンタルヘルスの基礎知識(講義)に関する感想や、所属校における学生相談・相談体制における課題を共有する。	・各班のメンバーとの自己紹介・情報共有
	午後	④学生の成長を促す 相談の乗り方 (160分)	・学生から相談を受ける際の心構えを理解するとともに、カウンセリング・スキルの基礎演習を通して、学生対応の基本スキルを修得する。また発達に偏りのある学生の相談に乗るときの留意点について理解する。	・自己決定を促すカウンセリング ・支援のための方法論(理論編+実習編) ・発達に偏りのある学生への支援の留意点
		⑤学生相談体制の 理解と関係者との連携 (90分)	・支援のための様々な資源について理解する。また、関係者との連携の重要性・必要性を理解する。 ・保護者を含むすべての関係者と連携・協力しながら支援を実施する方法・ポイントを理解する。	・学生相談の3階層モデル ・各階層における支援のあり方 ・自校の学生相談体制の理解 ・学外資源についての理解 ・連携の重要性・必要性
2 日 目	午前	⑥アイスブレイク (グループワーク) (10分)	・各班に分かれ、ワークショップ1日目の感想を共有する。	・各班のメンバーとの情報共有
		⑦ハラスメントへの対応 (80分)	・ハラスメント等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。	・ハラスメント問題とは ・様々なハラスメントについて ・相談の受け方(DVDを用いて) ・システム作りと予防活動
		⑧危機対応(自殺等) (100分)	・自殺等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。 ・自死リスクがある学生への対応についてロールプレイングを通して体験的な理解を深める。	・日本の自殺をめぐる状況 ・自殺と精神疾患 ・大学における自殺予防対策とポストベンション ・メンタルヘルス・ファーストエイド(初期支援)、ゲートキーパーについて ・模擬事例(自死の可能性が高い学生)を用いたロールプレイングの演習
	午後	⑨未来志向の学生支援 (学生も教職員も元気になる 企画・立案演習) (100分)	・既存の枠組みや固定観念に捉われている自分に気づき、そこから脱却し、未来に向けた学生支援のあり方を模索する。	・学生も教職員も元気になれるような取り組みについて、グループ討議を通して、多様な意見を取り込み、企画・立案する。
		⑩アフタメーション (50分)	・2日間のワークショップを振り返り、そこでの気づきから、学生支援の指針を見出す。 ・今後活かすために、その体験を定着させる。	・内省を通して、感じたこと、気づいたこと、学んだこと、再確認したこと、支援の現場で実行したいことなどを、文字と声で表明する。 ・表明することで、自らの学生支援の指針を確認すると共に、他者と共有することで支援の幅を広げる。
		⑪質疑応答 (35分)	・参加者から提出のあった質問用紙に対して回答することで、解決策等を参加者全員で情報共有する。 ・2日間のプログラムを通しての理解の確認と研修後、具体的にどのようなアクションを起こしていったらよいか、ヒントを得る。	・質問用紙への回答